

第4学年 国語科学習指導案

1. 単元名 調べて発表しよう 「『伝え合う』ということ」

2. 単元のねらい

- 伝え合い、分かり合うには、色々な方法があることに気づき、調べたりまとめたりしたもの聞き手に分かりやすく伝えようとする。【関心・意欲・態度】
- 相手や目的に応じ、自分の伝えたいことを話したり、話の中心に気を付けて友だちの発表を聞いたりするとともに、進んで話し合うことができる。【話す・聞く】
- 自分の調べたことや考えが相手に伝わるように工夫して書くことができる。【書く】

3. 指導にあたって

こんな子どもだから

- 本学級の子どもたちは、誰にでもよく話しかけたり、友だち同士で楽しそうに話したりすることができている。しかし、話したいことがうまく伝えられない子どもも多く、発表する際に、自信をもって表現するまでには至っていない。
- 1学期単元「伝言はまちがえずに」では、メモの重要性を知り、大事なことを端的に書いたり、聞き逃しや聞き違いはないか確認したりする態度が身につくにつつまある。また、独話活動では、事柄を順序だてて分かりやすく話したり、互いの考えを聞き合ったりしてきた。
- 本単元では、文字や音声表現だけではない、より広いコミュニケーションの方法について調べる学習を通して、伝え合うということについて視野を広げさせたい。そして、目的意識・相手意識を明確にもって話し合うことで、さらに表現する力を高めていきたい。

〇〇キラキラ学習とのかかわり

- 子どもたちは、これまでの〇〇キラキラ学習において、御笠川について自分が調べたいことを決め、実際に現地に行き調査活動をして、追究する力を身につけてきた。そして、同じ課題ごとにグループを作り、さらに追究を深めるために話し合っ、自分の考えを確かなものにする学習をしてきた。しかし、自分の考えが分かるように筋道を立てて話すことができていなかったり、友だちの考えを聞き逃してしまったりして、十分に話し合いが深まっていかなかった。
- そこでこの単元では、発表原稿を修正する場面やふり返る場面で、筋道を立てて話すことや話の中心に気を付けて聞く学習を取り入れていくことで、自信をもって表現する力を育てたい。そして、〇〇キラキラ学習での友だちとの交流を深めさせていきたい。

こんな支援で

- 「はじめ、中、終わり」という組み立てで発表原稿を書かせ、発表メモをもとに筋道立てた話ができるようにする。
- 聞き取りメモを工夫し、前もって記入できる項目の確認や記号などの工夫、短く端的に書く方法などを具体的に提示する。
- 発表原稿を練り上げる際には、同じ課題のグループ内で友だちからのアドバイスを交流させる。書き方の良いところやもっと改善するところを話し合わせ、原稿の修正をさせる。

こんな力を

- 自分の考えが分かるように、はじめ・中・終わりの簡単な組み立てを意識しながら、筋道を立てて話すことができる。
- 話の中心に気をつけて聞き、友だちの発表と自分が調べたことや考えたことを比べて自分の感想をまとめることができる。

4 . 活動計画 (7時間)

学習過程 配時	主な学習活動と内容	評価規準 (評価方法)	教師の支援
つ か む (3)	<p>1. 単元名や題名から単元のねらいをつかみ，学習の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 教材文「手と心で読む」の範読を聞き初発の感想を交流 ① ○ 筆者と点字との出会いについての読み取り ① ○ 点字について分かったことのまとめ ① 	<p>【関・意・態】</p> <p>学習のめあてが分かり，単元全体の見通しをもっている。 (行動観察・自己評価カード，ノート)</p> <p>【読む】</p> <p>自分の課題をもつために，「手と心で読む」の内容を読みとっている。 (行動観察，発言)</p>	<p>※ 「伝え合う」とは，どういふことかを考えさせるために，自分たちの伝え合いの方法を具体的に話し合わせる。</p> <p>※ 三つの大きなまとめ毎に内容の中心をつかませる。</p> <p>※ 自分が伝えたい内容は，〇〇キラキラ学習で調べさせる。</p>
さ ぐ る (3) 本時 6 ／ 7	<p>2. 分かりやすい発表の仕方が分かる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 発表原稿の書き方の理解 ① ○ 発表原稿書き ① ○ 発表原稿の修正 ① (本時) 	<p>【書く】</p> <p>伝えたい中心をはっきりさせて，はじめ・中・終わりの簡単な組み立てを意識しながら，筋道を立てて発表原稿を書いている。 (行動観察・自己評価カード，発表原稿)</p> <p>【話す・聞く】</p> <p>友だちの発表原稿を聞いて感想を伝えたり，話の内容について感想を言ったり，アドバイスしたりしている。 (行動観察・自己評価カード)</p>	<p>※ 教科書の発表例をもとに，基本的な組み立てと分量を全体で学習し，一人ひとりに発表原稿を書かせるようにする。</p> <p>※ 伝えたい中心をはっきりさせるために，発表原稿を書く手順を示す。</p> <p>※ 発表原稿は，同じ課題のグループでアドバイスを交流させる。</p>
ふ り 返 る (1)	<p>3. 「伝え合うということ」について話し合い，自分の考えをまとめる。 ①</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 感想の交流 	<p>【話す・聞く】</p> <p>感想を交流し合い，「伝え合う」ということについて自分の考えをまとめて発表している。 (ノート・自己評価カード)</p>	<p>※ 前時までにまとめた掲示物を活用しながら，「伝え合う」ということかを考えさせる。</p> <p>※ 今までの学習と〇〇キラキラ学習での発表会をふり返り，自分の考えの変容，深まり等について交流させていく。</p>

6. 本時目標

- グループ内でアドバイスをしながら、聞き手にとってさらに分かりやすい発表原稿にするために話し合うことができる。 【話す・聞く】

7. 本時指導の考え方

本学級の子どもたちは、前時までに教材文「手と心で読む」から、「伝え合うとはどういうことか考えよう」という学習のめあてをもち、〇〇キラキラ学習「バリアフリー大作戦」で調べる学習をおこなってきている。そして、発表に向け、分かりやすい発表原稿や発表メモの作り方についての学習をし、一人ひとり発表原稿も書いている。

本時は、書き終わった発表原稿をグループ内で読み合わせ、伝えたいことがよく伝わっているか、もっと改善したほうがいいところはどこかなど、アドバイスを交流させることによって、発表原稿をもっとよいものにしていく学習である。この学習をすることにより、より自信をもった意欲的な発表につながると考える。

まず、今日のめあてを確認する段階でモデル文を提示し、この原稿が分かりやすい原稿になっているか理由をつけて発表させる。その際、前々時の分かりやすい発表原稿の構成の学習を想起させて考えるように助言し、今日の学習のめあてや手順について理解させる。

次に、同じ課題のグループに分かれ、グループの各自の原稿を読み合いながら、観点(①はじめ、中、終わりの構成になっているか。②はじめの部分に調べたことと方法が書かれているか。③中1の部分には伝えたいことをまとめて短く、中2の部分には伝えたいことの内容が書かれているか。④終わりの部分には感じたこと、考えたことが書かれているか。)にそって、良い点や改善した方がよい点についてアドバイスを交流させる。原稿を読む際には、読み手は聞き手によく分かるように読み、聞き手は原稿を見ながら、良い点には赤線を、改善点には青線を引きながら聞かせる。その後、ピンクの付箋紙には良いところ、黄色の付箋紙には付け加えや修正した方がよいところを書かせ交流することで、各自の発表原稿をよりよいものに練り上げていきたい。

最後に、今日の学習をふり返らせるなかで学習の成果を自覚できるようにさせ、次時の聞き手の方を向いて自分の考えがよく伝わるように話す練習へとつないでいきたい。そして、これらの学習を通して、〇〇キラキラ学習で自信をもって発表できるようにしていきたい。

8. 準 備

(児 童)・発表原稿を印刷したもの(グループ分)、自己評価カード

(教 師)・モデル文を拡大したもの、発表原稿の構成についてまとめたもの
学習計画表

9. 本時学習の展開

主な学習活動と内容	教師の支援
<p>1. 本時のめあてをつくる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○モデル文の音読 ○良いところ，改善点を発表 <p>○めあての確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ モデル文を拡大した物を用意する。 ※ モデル文を見ながら，良いところや改善するところについて発表させ，そのわけも言わせる。 ※ 前々時に学習した分かりやすい発表原稿の書き方を想起させる。 ※ グループで話し合いながら，前時に書いた発表原稿をより良いものにすることを確認させる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> めあて 聞き手に分かりやすい発表原稿にするために話し合おう。 </div>	
<p>2. グループで発表原稿について話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合う内容の観点確認 <ul style="list-style-type: none"> ・はじめ，中，終わりの構成になっているか。 ・はじめの部分に調べたことと方法が書かれているか。 ・中の部分に伝えたいことの中心が書かれているか。 ・終わりの部分に感じたこと考えたことが書かれているか。 ○各自の原稿発表 <p>○アドバイス交流</p> <p>○自分の発表原稿の修正</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 司会に進め方のマニュアルを持たせる。 ※ 読み手には聞き手に伝わるような読み方をさせる。 ※ 聞き手には，良いところに赤線，改善点には青線を引かせる。 ※ 良いところはピンクの付箋紙，付け加えや修正は黄色の付箋紙に書かせる。 ※ 観点にそって話し合わせる。 ※ 黄色の付箋紙をもとに自分の発表原稿を見直しさせる。
<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;"> 評価規準 【話す・聞く】 友だちの発表原稿を聞いて，感想を伝えたり，発表内容について進んでアドバイスしたりしている。 (行動観察・自己評価カード) </div>	
<p>3. 本時学習の成果を確認し，次時の見通しをもつ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○話し合いのふり返りとまとめ <p>○次時学習の確認</p>	<ul style="list-style-type: none"> ※ 自己評価カードを書かせ，発表させる。 ※ 原稿の書き方の技能の高まりを感じさせることで，次時への意欲をもたせ，自信をもって発表させるようにしたい。 ※ 次時は学習計画の掲示物を見て，発表の準備をすることを確認させる。

